

(様式5)

## 令和5年度 学校運営協議会委員評価報告書

学校名 湯梨浜町立東郷小学校  
校長名 福田早由里

評価日 令和6年2月16日(金)

評価	自己評価	関係者評価	提言・改善策等
(1) 学ぶ意欲の向上と 確かな学力の向上	B	B	今後は、全国学力・学習状況調査だけでなく、とっとり学力・学習状況調査なども併せて評価していく方がよい。いろいろな視点があると思う。 学習参観した様子では、子どもたちは落ち着いて集中して学習に取り組んでいたのので、成果に記載した方がよい。
(2) 支え合い高め合う 人間関係づくり	B	B	「職員研修を行った。」と記載してあるが、やったことだけでなく、その後どうなったのかも記載した方がよい。 欠席が1度30日を超えると不登校の人数になり、よい兆しが見えても数字としては、減らない。説明の中で不登校の児童により変化があるので、現状を記載した方がよい。 やさしい子どもたちだが、自己主張が少ない。しなやかにバネのある心(おれない心)が大事になってくる。
(3) 健やかな体づくり	B	A	マラソン大会、なわとび大会の記載もあった方がよい。よい取り組みである。 体力テストの比較が載せてあった方がよい。 メディアとの付き合い方は、家庭と連携して進めてほしい。
(4) 地域に根ざし開かれた学校づくり	A	A	龍踊り、少年消防クラブ、浪人踊り、灯籠づくり等伝統を受け継いで地域に出かけて披露しているよい取り組みである。 龍踊りは、こども園、小学校、中学校と地域の学習を進めている。ふるさと教育において、さらに連携ができればよいのでは。
総合評価	B	B	(1)(2)もAでよいと思うが、さらに力をつけてほしい。 学校が、よいことも心配なことも学校運営協議会で話してくれるので、何とか力になりたい。気になる学級には、声を出してくれれば、学校に出向く。 子どもたちが学校にまた行こうかなと思えるように、学級全体で声かけできる仲間づくりを進めてほしい。子どもたちのために家庭、学校、地域が連携していこう。